



平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

北海道ブロックラウンド 競技・審判運営上の確認

1 競技規則について

本大会は平成30年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要項により実施する。

ネットの高さは男子2m43cm、女子は2m24cmとする。競技は全て3セットマッチのトーナメント戦でおこなう。今大会は、中体連特別ルールは適用しない。今大会使用球は男子ミカサ製・女子モルテン製を使用する。

2 チーム構成について

- 1) チームは、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー各1名、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。そして、試合ごとに14名以内（2名以内のリベロを含む）の選手をエントリーすることができる。

なお、監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員の有資格者とする。

- 2) 監督・コーチ・マネージャーのチームスタッフに変更がある場合は、代表者会議終了時まで今大会を通して〔役員変更届〕を提出することによって、変更することができる。

- 3) 選手は18名エントリーとし、申し込みのあとの変更を認めない。構成メンバー届（用紙）は試合ごとに14名以内を選抜し、各チームは前試合の1セット終了後（第1試合は開始30分前）までに本部エントリー係まで提出し確認を受ける。（ユニフォームを確認する場合がある）

試合が連続する場合は、試合終了後速やかに提出すること。

- 4) リベロのエントリーについて

- ① 正規選手が12名以内の場合、リベロの数は0名、1名、2名のいずれでもよい。
- ② 正規選手が13名または14名の場合、リベロの数は2名いなければならない。

3 ベンチへの着席について

ベンチには有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター・通訳各1名、選手14名以内の計21名以内の着席を認める。着席の際、チーム役員は直径6cm程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけること。また、公式練習の際、構成メンバー以外のエントリーメンバーがボールキーパーとして参加することを認める。その際は、試合用ユニフォーム以外のチームで統一された服装を着用すること。

4 試合開始時刻について

- 1) 試合開始予定時刻は男子会場の第1試合は11時、女子会場の第1試合は10時30分とする。以降追込み方式をとる。また、試合の進行状況によってはコートを変更しておこなうことがあるので他のコートの試合進行にも注意すること。
- 2) 公式練習前のウォーミングアップでネット・ボールを使用できる。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。隣接コートで試合が行われている場合は、ボールを使用しないウォーミングアップを行うこと。
- 3) 同一チームが連続試合となる場合は、20分後にプロトコールを開始する。
- 4) 試合開始時刻を20分経過してもチームがゲームコートに現れない場合はその試合を没収する。なお次の試合の呼び出しは行わない。
- 5) プロトコール開始10分前より、第1試合の当該チームにコートを優先的に使用させること。

5 フロア・モッピングについて

- 1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間におこなうこと。ただし、構成メンバー以外のエントリーメンバーを最大2名クイックモッパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とし、位置は監督席と記録席の間、2名の場合はベンチの両端に各1名配置すること。なお、モッパーはモッピングを目的とし、応援は慎むこと。
- 2) タイムアウト中、およびセット間については、ベンチにいる交代選手またはクイックモッパーがモップを使っても構わない。

6 リベロについて

- 1) **リベロは、他の選手と対照的な色のユニフォームを着用すること。**
 - 2) サービスのホイッスルの後に行われるリプレースメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレースメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。しかし、その時のリプレースメントは、罰則の段階に関係なく認められる。
 - 3) ラリーがノーカウントとなった時は、リベロのリプレースメントはできない。
 - 4) リベロが1人しかいなくなった場合や、1人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。
- 7 ラリー中に選手が負傷し、ラリーが中断され、ノーカウントとなった場合、その選手の選手交代は認められるが、タイムアウトは認められない。

8 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

選手は競技規則通りの番号をつけた統一されたユニフォームを着用のこと。

JVAが公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングすること。

パワーパンツ、アンダーシャツ等を着用する場合は、ユニフォームからはみ出してはいけない。

ソックスについて長さ、色、デザインは、チームで統一されていること。

医療を目的としたサポーター、コルセット類はプレー上危険、プレーに有利に働く場合を除いて規制はしない。しかし、明らかに色が違う医療用サポーターとコルセット類（腰用等）はユニフォームの下に着用すること。

9 チーム役員について

- 1) チーム役員は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。
- 2) 監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーが統一されたトレーニングウェアを着てもよい。
- 3) 選手と違うトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用する。ただし、中学校・高校チームの場合は、監督・コーチは統一された服装で、マネージャーはチームで統一された服装でベンチに着席のこと。

10 試合前の待機チームは、前試合終了の挨拶が終了するまでコートへの入場を禁じる。

11 練習コートは設けない。開館後のコート設営終了から、開会式までの間は、コートを使用して練習することを認める。各チーム譲り合って使用のこと。

12 その他

- 1) ベンチには飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コートの最も端（後方）に置くこと。
- 2) 各会場の開館時間は8時30分とする。
- 3) 競技中に、プレーしていない選手はウォームアップエリアでボールを使わずにウォームアップすることができる。また、タイムアウト中には、そのコートのフリーゾーンでウォームアップできる。なお、選手はセット間にもフリーゾーンでボールを使ってウォームアップできる。
- 4) 今大会のコートオフィシャル6名（ラインジャッジ、点示）について、開催地江別地区協会が行う。
- 5) コートワイピング用タオルの交換用を持参のこと。
- 6) 北海道ラウンド優勝チームは支給されたTシャツを着用して開始式に臨むこと。
- 7) 北海道ブロックラウンド優勝チームにはファイナルラウンドへの通過証を授与する。